

強 力 裁 断 機

MC—380A / 400A

取 扱 説 明 書

MAITZ Corporation
Utsunomiya, Japan

強力裁断機

MC-380A/400A

取扱説明書

お買い上げいただきまことにありがとうございます。

本機をお使いになる前に必ずご一読いただき安全に快適にご愛用くださいますようお願い申し上げます。

■ご使用法【説明図1参照】

1) 寸法決め方法

【移動定規】④を【当枕】③のスケールの目盛りに合わせ固定してください。

(台盤上に印刷された紙サイズのガイドラインは目安です。正確な寸法はスケールによって決めてください。)

2) 用紙のセット方法

裁断用紙は下の紙から上の紙までキチンと揃え【当枕】③、【移動定規】④の接面に正確に当たるようセットしてください。

☞ もしも上下の紙が揃っていない場合は上下の紙は裁断後寸法は合いません。

☞ 正確な裁断するために上記事項は必ず守ってください。

3) 裁断方法

A) ハンドルを垂直におこします。

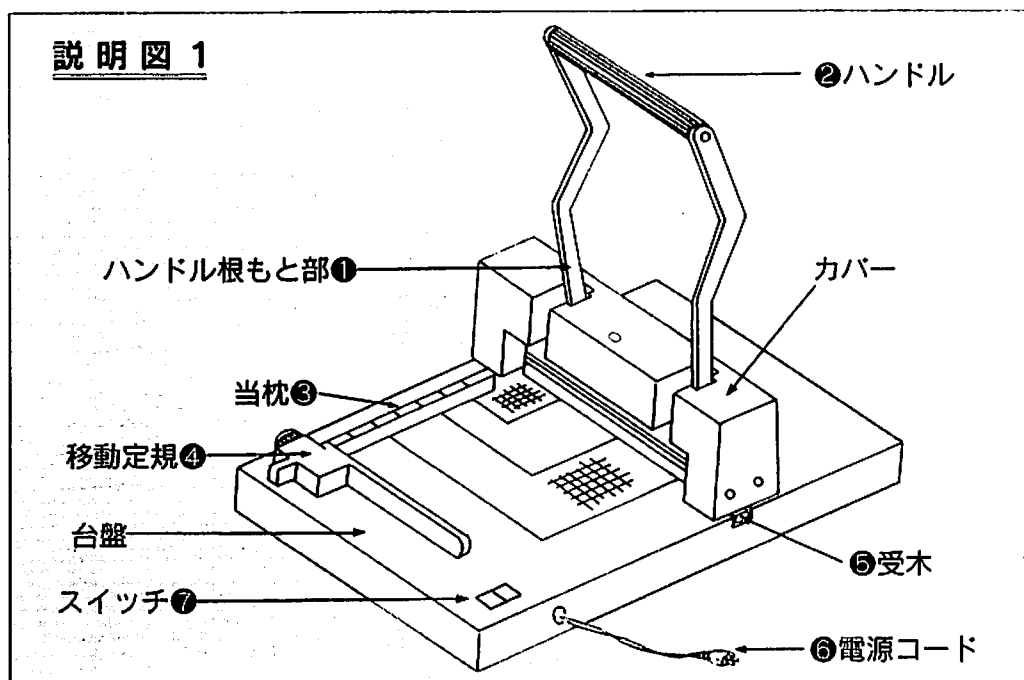
B) 【ハンドル根もと部】①を左手で左方向に寄せます。

(ロックがはずれハンドルが降りる状態になります。)

C) セットされた裁断用紙に当たるまで【ハンドル】②を両手で握り上げ、一気におろします。

ハンドルが下がり終わった位置が裁断終了です。(切り終わった時プツンという音がします。)

これで裁断は完了です。



4) 便利な装置【カットライン光線表示装置】について (PAT.)

見当をつけた位置で切りたいときに便利な装置です。

A) 【電源コード】⑥をコンセントに差し込んでください。

B) 【スイッチ】⑦をONにすると内部の5Wの電球が点灯し紙をセットするとカットラインが出ます。このラインがカットされる位置です。

☞ 万一カットラインが見えにくくなった場合はカバーをはずして内部の電球ソケットを左右に動かして光線の出る位置に合わせてください。

☞ ご使用後は【スイッチ】⑦を必ずOFFにしてください。【スイッチ】⑦の消し忘れは、電球の寿命を極端に短くしますので、ご注意ください。

■切れないときの対応は？

◎受木は数十回の裁断で刃の当たる部分が摩耗し切れ残りが出るようになります。

その時は受木を右の方向に引き抜いて、今お使いの面を【180度廻して入れなおせば新しい受木面】になり、切れ残りはなくなります。※受木は10.7mm角の4面体です。従いまして4面を8面として使え大変経済的に使えるように設計されています。

	トラブル内容	原因	対応
1	部分的に切れのこる。	受木についた溝が深くなったため。	受木の面を替える。
2	最後の1~2枚が切れのこる。	①同上の原因。 ②刃先が摩耗したため。	①同上 ②刃の研磨が必要。
3	ハンドルが重い。	刃先が摩耗したため。	刃の研磨が必要。
4	裁断した紙の寸法が狂っている。	紙揃えが悪いため。	☞の説明に従って紙の上下を正確に揃える。
5	紙押えの戻りが悪い。	内部引きバネが弱っている。 斜動コロが摩耗した。	部品交換 部品交換
6	紙押えの押さえ方が弱い。	内部押しバネが弱っている。	部品交換

■刃の交換方法

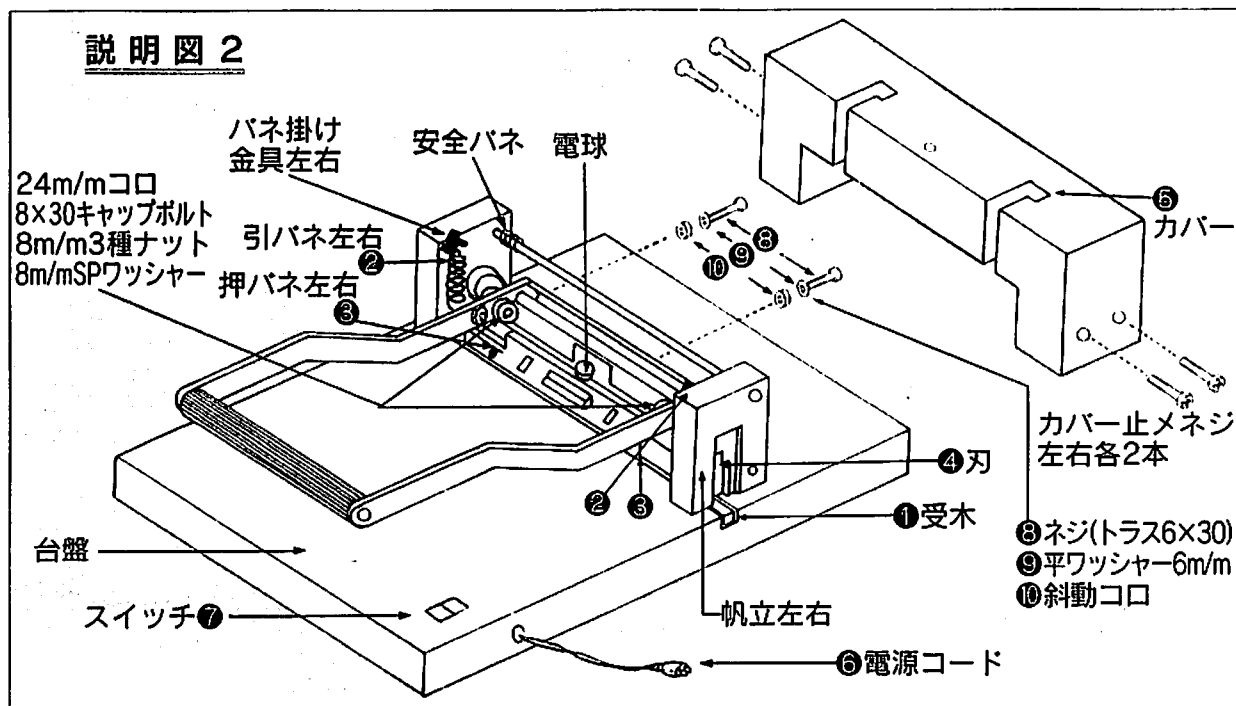
◎刃は約1,000回の裁断で切れ味が落ち、約1,500回の裁断で裁断時にハンドルが重くなります。

そのときは刃の研磨が必要になります。

刃が研磨を必要とするときの取りはずし/取り付けは台盤上に印刷されております。

カバーをはずし図に従って実行してください。

※特に刃物の取扱いは十分注意して安全に扱ってください。



MAITZ corporation

本社工場 宇都宮市宮の内1-175
TEL 028 (653) 0656 (代)
東京支店 東京都台東区台東2-19-9
ゼネラルビル 2F
TEL 03 (5817) 3383
<http://www.maitz.jp>

06.12.3S(TL)